

カンピロバクターの食中毒発生状況について

1. 2024 年の食中毒発生状況

直近の 2024 年の発生状況について、厚生労働省の公表情報として掲載されている食中毒発生事例を確認したところ、カンピロバクター・ジェジュニ/コリを病因物質とする食中毒事件数は 208 件の報告があり、患者数の合計は 1,199 人であった。食中毒事件数 208 件の原因施設の内訳は、飲食店 165 件、不明 38 件、事業場 3 件、学校 1 件及び旅館 1 件であった。原因食品の内訳は、その他 148 件、不明 24 件、肉類・加工品 15 件及び複合調理品 5 件であった。原因食品には、焼き鳥の鶏レバー、鶏白レバー、鶏レバーハム、ささみユッケ、バーベキュー、生又は加熱不十分な鶏肉料理等が含まれていたとする記載があるが、多くは不明であったとされている。

*[001472342.xlsx](#)

2. 2009 年～2024 年までの発生状況（2009 年の評価書公表以降の推移）

表 1. カンピロバクター食中毒発生状況（2009～2024 年）

年	事件数（件）	患者数(人)	死者数(人)
2009	345	2,206	0
2010	361	2,092	0
2011	336	2,341	0
2012	266	1,834	0
2013	227	1,551	0
2014	306	1,893	0
2015	318	2,089	0
2016	339	3,272	0
2017	320	2,315	0
2018	319	1,995	0
2019	286	1,937	0
2020	182	901	0
2021	154	764	0
2022	185	822	0
2023	211	2,089	0
2024	208	1,199	0

厚生労働省 食中毒統計資料から引用、作成。

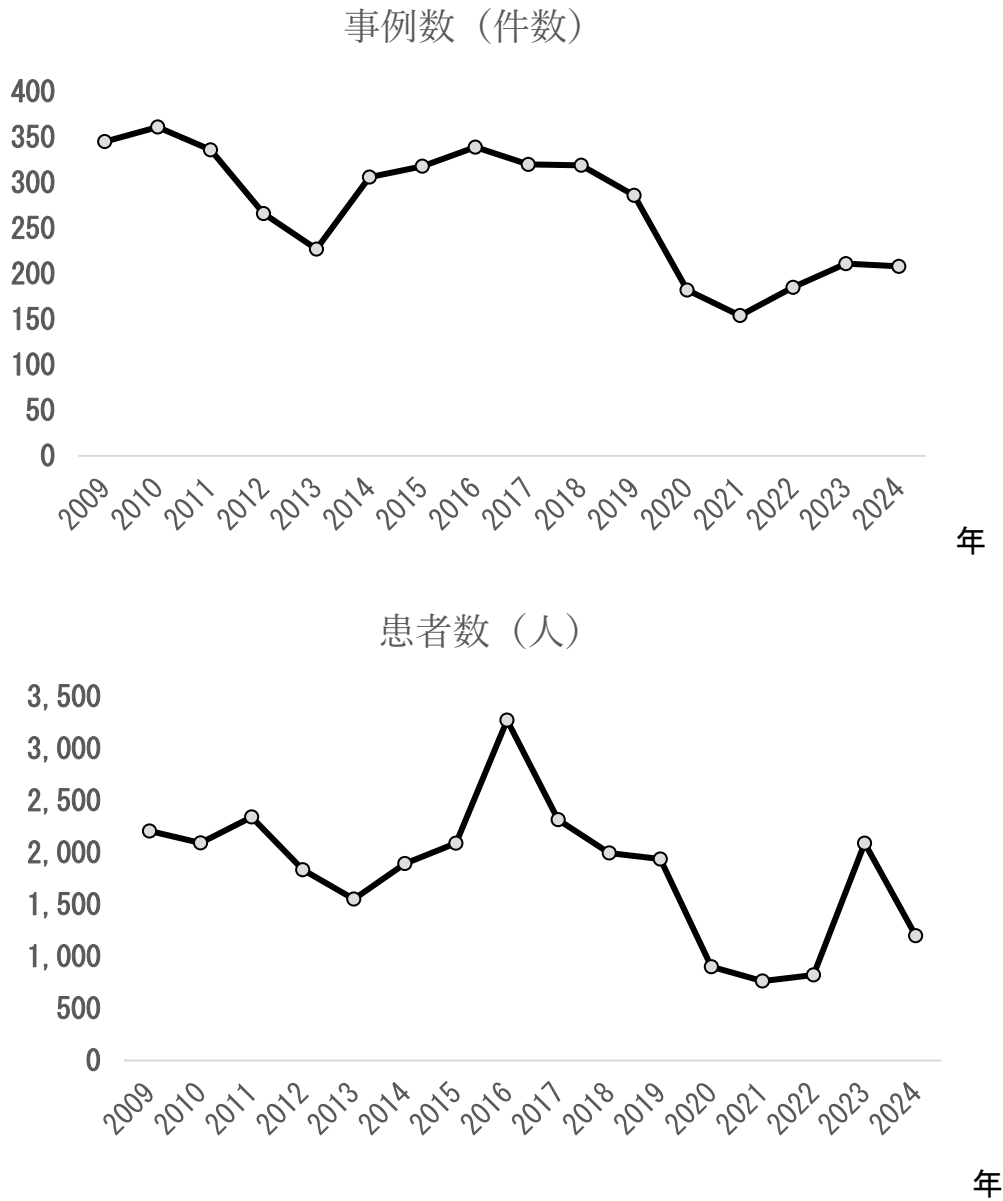


図 1. カンピロバクター食中毒発生状況 (2009～2024 年)

厚生労働省 食中毒統計資料から引用、作成。

※2016 年には、鶏ささみ寿司を原因とする患者数 609 人の大規模食中毒事例が発生。2023 年には、湧き水を使用した食事を原因とする患者数 892 人の大規模食中毒事例が発生。